警子ちゃん 3G シリーズ

DN-1300SE

USB 接続警告灯

取扱説明書

2013 年 3 月 12 日 版

株式会社 アイエスエイ

限定保証について

保証規定に明記されている場合を除いて、アイエスエイは当製品の使用による直接的、間接的、例外的、偶発的、結果的な損害に対し、いかなる責任も負いません。またアイエスエイは、売上や利益の損失、機器の損失、機器の使用の損失、ソフトウェアの損失、データの損失、代用あるいは第三者によるクレーム、その他いっさいの費用について責任を負いません。

用途限定について

人の生命に関わる装置など（注）には、絶対に使用しないこと

（注）：人の生命に関わる装置などとは、以下のものをいいます。

- 手術室用機器
- 生命維持装置（血液透析器、新生児人工保育器、血液ポンプ、人工呼吸器など）
- 有毒ガスなどの排ガス、排煙装置
- 消防法、建築基準法などの各種法令により設置が義務付けられている装置
- 上記に準ずる装置

目次

1.　安全にお使いいただくために

この取扱説明書では製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。ご使用の前に必ずお読みください。また、お読みになった後はお使いになる人がいつでも見られるところに保管してください。尚、この取扱説明書の内容は予告なく変更される場合があります。

表示と意味は次のとおりです。

危険 ⚠	取り扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示します。
警告 ⚠	取り扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意 ⚠	取り扱いを誤った場合に使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

危　険

●ご自身での分解・修理・改造は絶対に行わないでください。
●本体、警告灯、ブザーの隙間から水や金属などの異物を入れないでください。

警　告

●異音や異臭がした場合は使用を中止して販売店にご連絡ください。
●本体、警告灯、ブザーに水がかかるようなところでは使用しないでください。
●水や薬品などの液体をこぼさないでください。
●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
●持ち運びのときには落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
●雷が鳴りだしたら電源コードのプラグには触らないでください。

注 意

●お客様ご自身で装置内部にさわったり修理や改造をしないでください。
　本装置内部には高い電圧がかかっている部分があるため、感電する恐れがあり、大変危険です。絶対にカバーをはずさないでください。
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。
●傷んだ電源コードや電源プラグおよびコンセントの差し込みがゆるい時は使用しないでください。
●標高の高いところ（PC に準じる）では使用しないでください。

●調理台のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
●本体、警告灯、ブザーを移動させるときは衝撃を与えないでください。
●振動の激しいところでは使用しないでください。
●湿気やほこりの多い場所では使用しないでください。
●暑い場所（40℃以上）や直射日光の当たる場所では使用しないでください。
●火気に近づけないでください。
●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所へは置かないでください。
●本体を布などでおおったり、包んだりした状態で使用しないでください。
●強力な磁気を持っているもののそばには置かないでください。
●本体の上に重いものをのせないでください。
●コンセントから電源コードを抜くときはコードを引っ張らず必ずプラグを持って抜いてください。

2. 概要

2.1. 本製品について

本製品は、コンピュータなどの USB ポートに接続して、ブザー、警告灯により異常発生を知らせるシステムです。オフィスでの使用はもちろん工場や自宅でのメールの受信や異常発生をいち早く確認できます。

本製品を PC の USB ポートに接続すると、COM ポート（シリアルポート）に自動的に割り当てられます。コマンドツール usbux で本製品が割り当てられた COM ポートにアクセスすることにより、ランプやブザーを制御します。どの COM ポートに割り当てられたのかは、コマンドツール usbux や OS のデバイスマネージャで確認できます。

主な特長

① USB2.0 サポートにより RS232C コネクタのないノート型 PC にも簡単接続
② 1 色、3 色、5 色 LED ランプおよびブザー装備
③ USB バスパワー駆動、ランプ／ブザー動作用補助電源として AC アダプタ添付
④ 簡単なコマンドにより各種アプリケーションと容易に連携

2.2. 対応 OS

本製品のデバイスドライバ、及び、コマンドツール usbux は以下の Windows に対応しています。

OS 名	32bit	64bit
Windows 2000	○	＼
Windows XP	○	×
Windows Server 2003	○	×
Windows Server 2003 R2	○	×
Windows Vista	○	○
Windows Server 2008	○	○
Windows 7	○	○
Windows Server 2008 R2	＼	○
Windows 8	○	○
Windows Server 2012	＼	○

○：対応
×：非対応

3.　設置について

3.1. 構成

本製品は以下の構成からなっています。すべてそろっているかどうかをご確認ください。また輸送中に損傷を受けていないかもご確認ください。

万が一損傷があった場合にはお買い上げの販売店までご連絡ください。

足りない物があったり、違う物が入っていた場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

標準構成品

□ DN-1300SE 本体	1 台
□ USB ケーブル	1 本
□ DN-1300SE 専用 AC アダプタ	1 台
□ ドライバ・コマンドツールインストール CD-ROM	1 枚
□ 結束バンド	1 本
□ マウントベース（結束バンド固定具）	1 個
□ お客様登録 FAX カード	1 枚

3.2. 設置条件

次の環境条件に適した、安定した水平な場所に置いてください。

・周囲温度が 45℃以下の室内（20～30℃が望ましい）
・結露しないこと（湿度 20～85%RH）
・水の浸入のない所、あるいは水の滴下などで濡れるおそれのない所
・直射日光の当たらない所
・塵埃のない所
・可燃ガス、腐食性ガス、及び霧状の油（オイルミスト）等のない所
・振動のない所
・火花や発熱体が近くにない所
・大容量のモーターの動作しない所
・強力な電気、ノイズのない所

4.　各部の名称

4.1. 本体正面

図 1 DN-1300SE-5LCB / 5LCW / 5LSB / 5LSW (正面)

※写真は DN-1300SE-5LCB

図 2 DN-1300SE-3LCB / 3LCW / 3LSB / 3LSW (正面)

※写真は DN-1300SE-3LCB

①	LED1（赤）	⑤	LED7（白）
②	LED2（黄）	⑥	ブザー音共鳴部
③	LED6（青）	⑦	ブザー音調節レバー
④	LED3（緑）		

図 3 DN-1300SE-1RCB / 1RCW / 1RSB / 1RSW (正面)

※写真は DN-1300SE-1RCB

図 4 DN-1300SE-1GCB / 1GCW / 1GSB / 1GSW (正面)

※写真は DN-1300SE-1GCB

①	LED1（赤）
④	LED3（緑）
⑥	ブザー音共鳴部
⑦	ブザー音調節レバー

ブザー音調節レバーで 70～90dB に調整が可能です。

4.2. ALARM STOP ボタン

⑧	ALARM STOP ボタン（電源ランプを兼ねる）

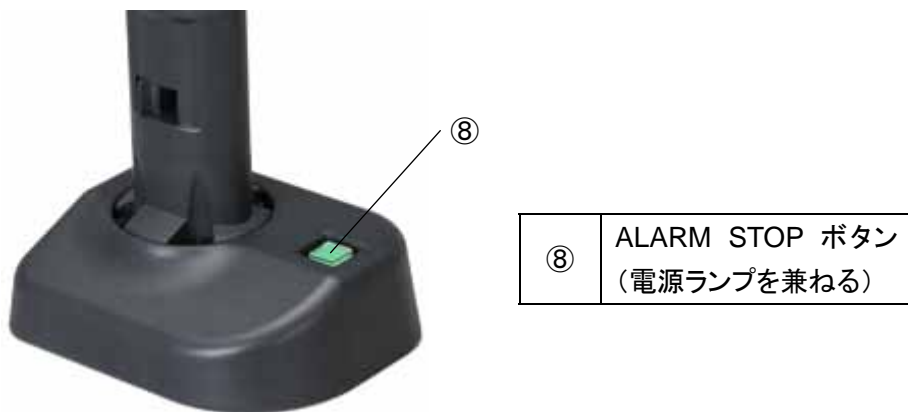



図 5 土台部分上部 (共通)

ALARM STOP ボタン押下で全てのランプとブザーを OFF にします。

4.3. 本体背面

⑨	USB ポート
⑩	AC アダプタコネクタ

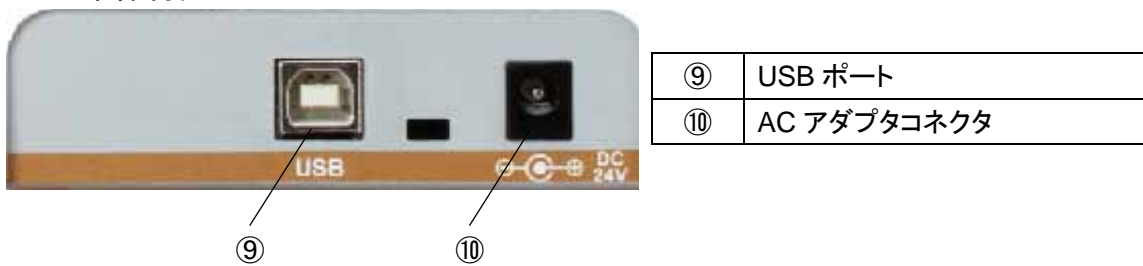



図 6 背面 (共通)

5.　設置と接続

5.1. 設置

DN-1300SE を平坦な場所に設置してください。また、AC アダプタのケーブルと USB ケーブルが引っ張られて抜けることを防ぐために、結束バンドとマウントベースで固定します。

図 7 USB ケーブルと AC アダプタのケーブルを固定

> **注意**
>
> ⚠
>
> PC の USB ポートにはまだ接続しないでください。次章以降でご案内します。

6.　インストール

本製品を PC の USB ポートに接続すると、COM ポート(シリアルポート)に自動的に割り当てられます。コマンドツール usbux で本製品が割り当てられた COM ポートにアクセスすることにより、ランプやブザーを制御します。どの COM ポートに割り当てられたのかは、usbux で確認できます。

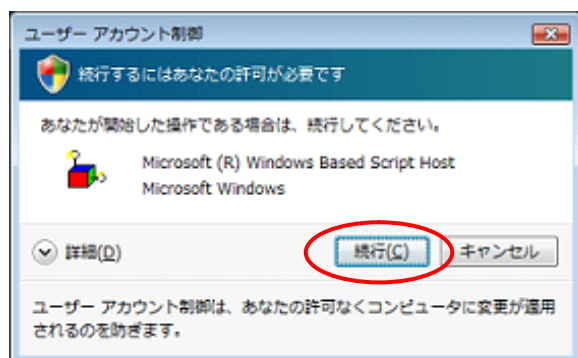
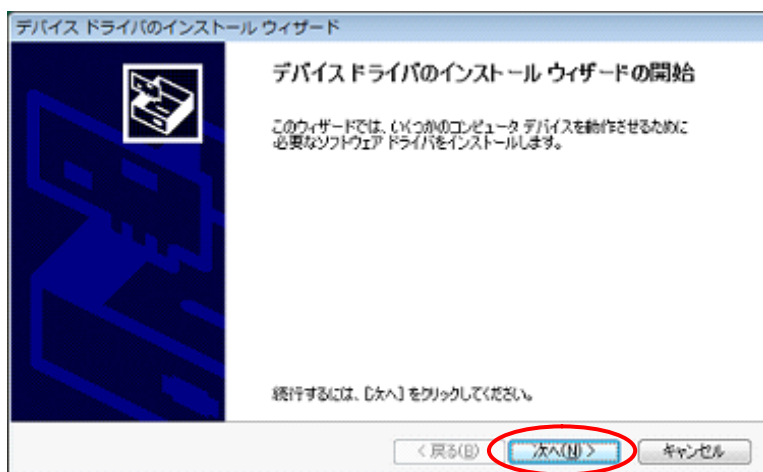
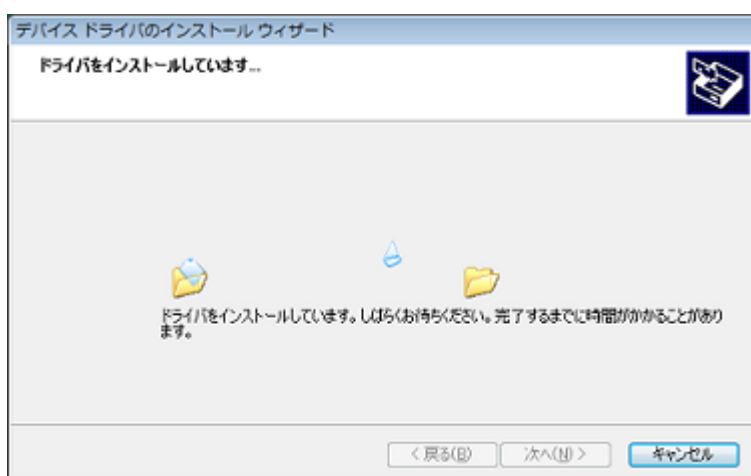
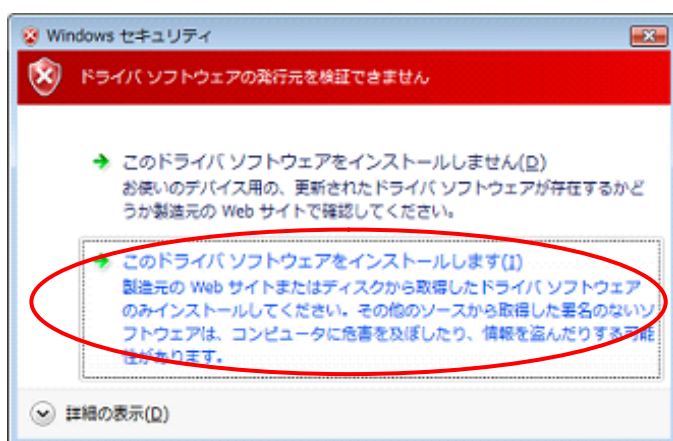
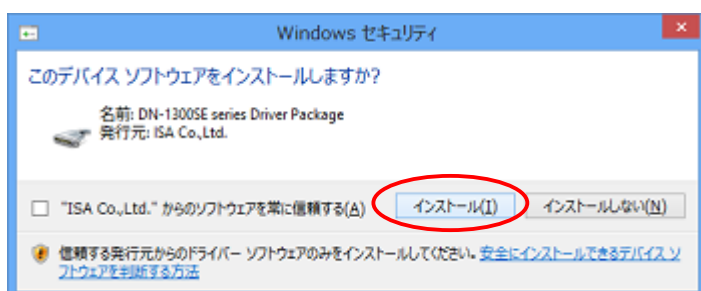
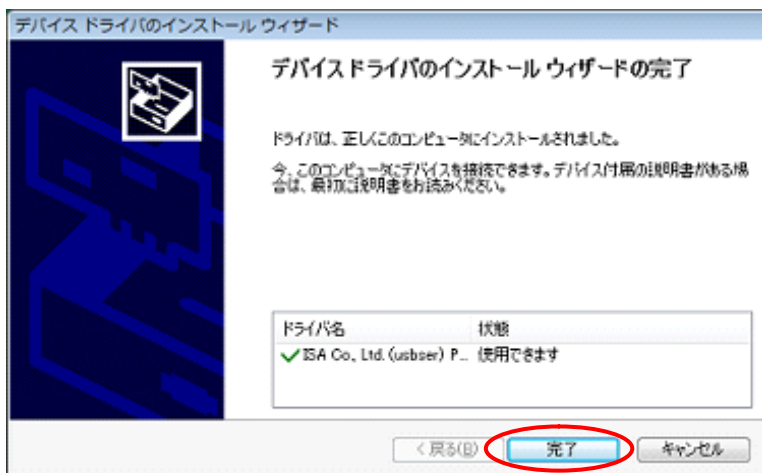
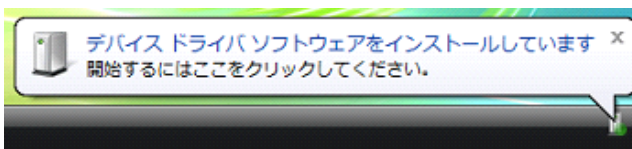
この章では、本製品を使用するまでの手順と動作確認方法を示します。本製品を使用するにはドライバやコマンドツールのインストールが必要です。ドライバやコマンドツールは添付の CD-ROM からインストールできます。

※ ここでは Windows Vista / 7 / 8 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Server 2012 の場合について説明します。Windows XP / Server 2003 のドライバインストール方法については P15「6.2 ドライバのインストール」、Windows 2000 については P17「6.3 ドライバのインストール (Windows 2000)」を参照してください。

6.1. ドライバのインストール (Windows Vista / 7 / 8 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Server 2012)

DN-1300SE を PC に接続していない状態で、付属の「DN-1300SE ドライバ・マニュアル CD-ROM」を PC にセットしてください。

「自動再生」ウィンドウが開いた場合、「cmd.exe の実行」をクリックしてください。「デバイス ドライバのインストール ウィザード」ウィンドウが開きます。

「自動再生」ウィンドウが開かない場合、CD-ROM 中の「setup.bat」をダブルクリックしてください。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが開いた場合、「続行(C)」をクリックしてください。

「デバイスドライバのインストールウィザード」が開きます。
「次へ(N)」をクリックしてください。

「次へ(N)>」ボタンをクリックします。左図のような表示に変わります。何もせずにお待ちください。

【Windows Vista / 7 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Windows 8(32bit)の場合】
「Windows セキュリティ」ウィンドウが開きます。
「このドライバソフトウェアをインストールします(I)」クリックします。

【Windows 8(64bit) / Server 2012 の場合】
「Windows セキュリティ」ウィンドウが開きます。
「インストール(I)」クリックします。

「完了」ボタンをクリックし、「デバイスドライバのインストール ウィザード」ウィンドウを閉じます。

DN-1300SE を PC の USB ポートに接続すると、タスクバーに「デバイスドライバをインストールします」というバルーンメッセージが表示されます。そのままお待ちください。

※Windows 8 / Server 2012 では表示されません。

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアが正しくインストールされました。」というバルーンメッセージが表示されれば完了です。

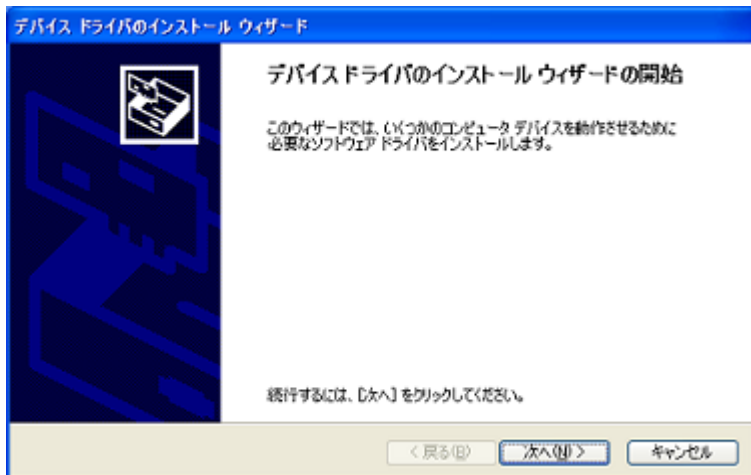
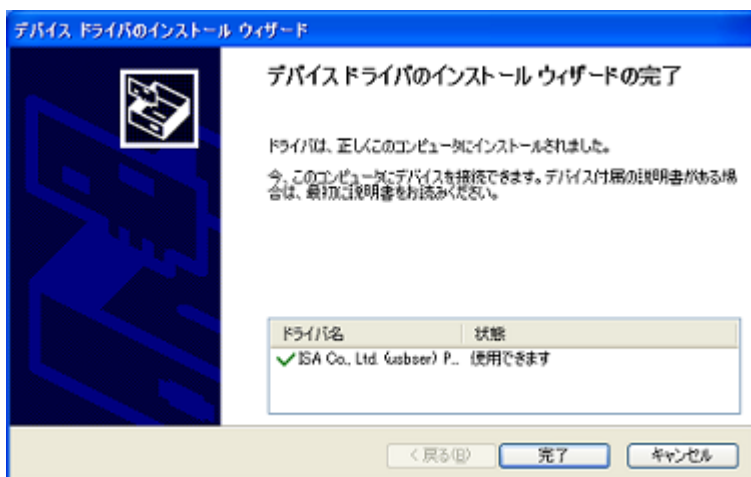
※Windows 8 / Server 2012 では表示されません。

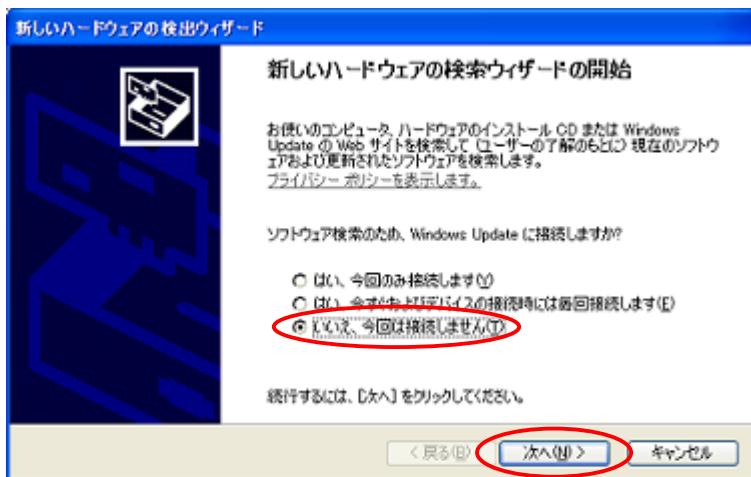
Windows 8 / Server 2012 では、コントロールパネルからデバイスマネージャを開き、「ポート (COM と LPT)」の下に「DN-1300SE series USB port driver (COMx)」項目があることで確認できます(“COMx”の x には数字が入ります)。

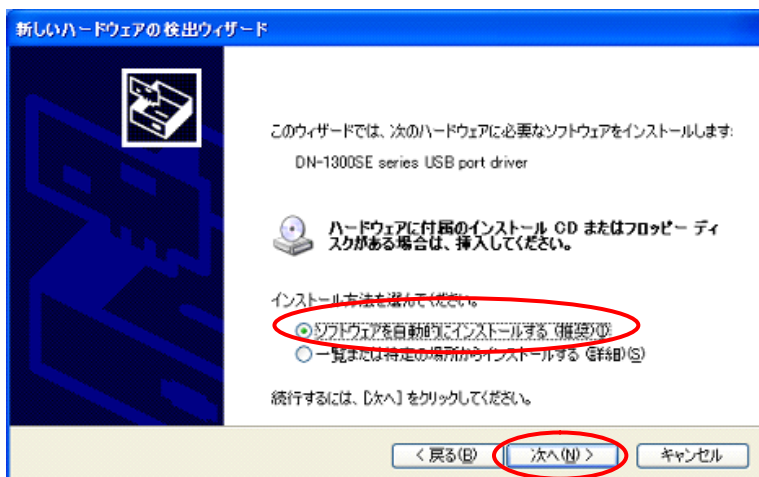
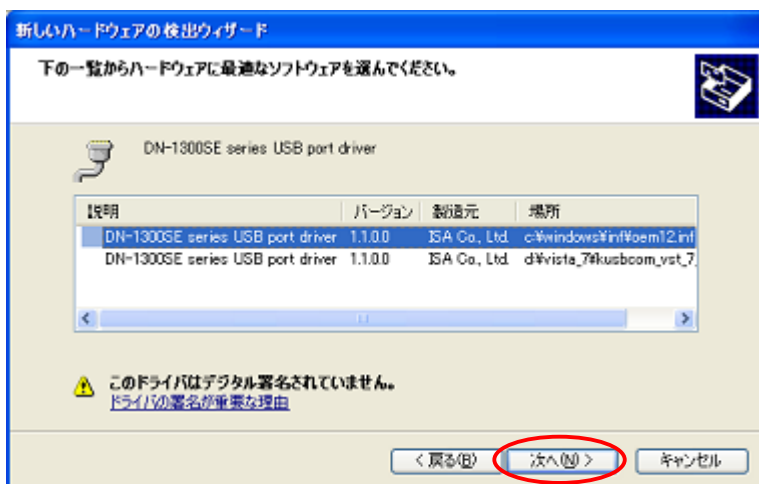
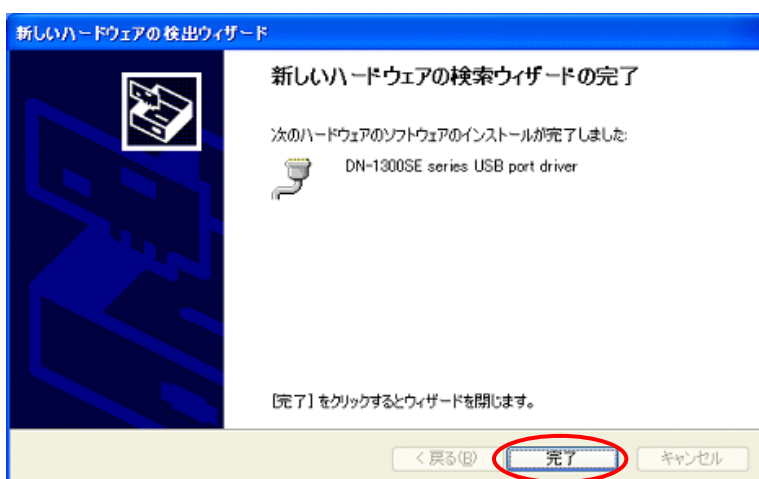
ドライバを正しくインストールできなかった場合、以下の手順により一旦ドライバを削除し、インストールし直してください。

1) 「7.2 ドライバのアンインストール (Windows Vista / 7 / 8 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Server 2012)」の手順でドライバを削除します。
2) DN-1300SE を PC から取り外します。
3) c:¥Windows¥system32¥Drivers にある usbser.sys ファイルを削除します。(Windows のシステムフォルダが c:¥Windows の場合)
4) 本節(6.1 ドライバのインストール (Windows Vista / 7 / 8 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Server 2012))に示す手順でドライバインストールを行います。

6.2. ドライバのインストール (Windows XP / Server 2003)

DN-1300SE を PC に接続していない状態で、付属の「DN-1300SE ドライバ・マニュアル CD-ROM」を PC にセットしてください。「デバイス ドライバのインストール ウィザード」ウィンドウが開きます。自動的に開かない場合、CD-ROM 中の「setup.bat」をダブルクリックしてください。

「次へ(N)>」ボタンをクリックすると、ドライバのインストールが開始します。そのままお待ちください。

「完了」ボタンをクリックし、「デバイス ドライバのインストール ウィザード」ウィンドウを閉じます。

DN-1300SE を PC の USB ポートと接続します。「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。

左のようなダイアログが最初に表示される場合があります。

「いいえ、今回は接続しません(T)」を選択し、[次へ]をクリックします。

「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(T)を選択し、[次へ]をクリックします。

“c:¥Windows¥inf¥”で始まる項目が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

[完了]をクリックし、「新しいハードウェアの検出ウィザード」を閉じます。

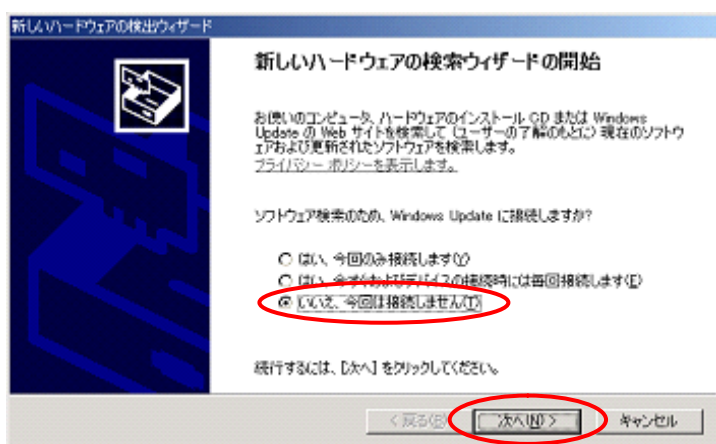
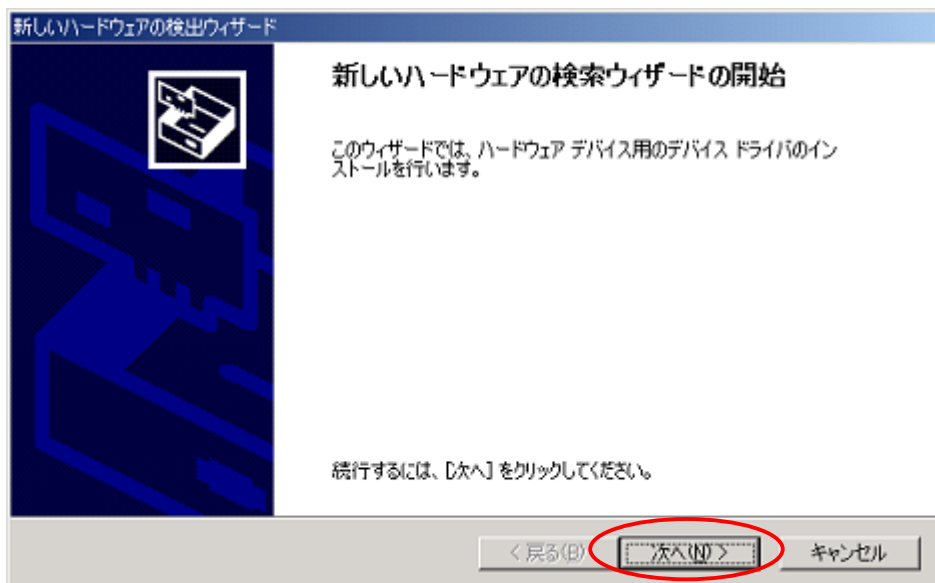
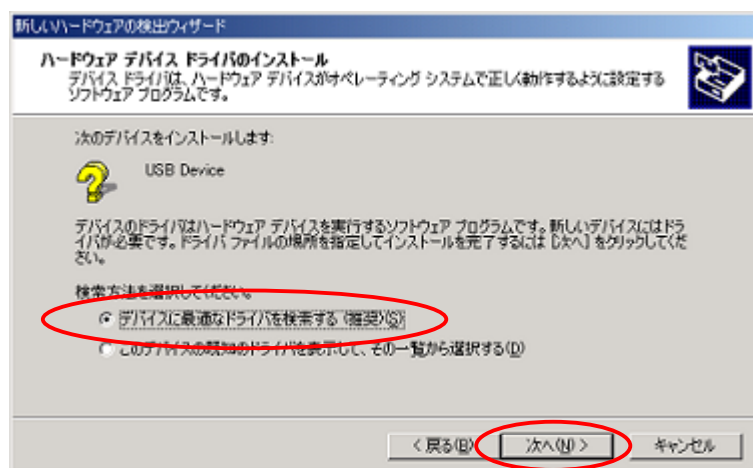
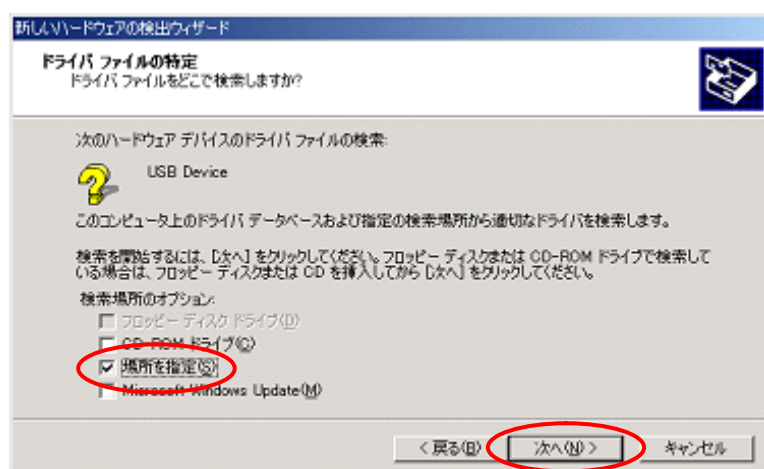
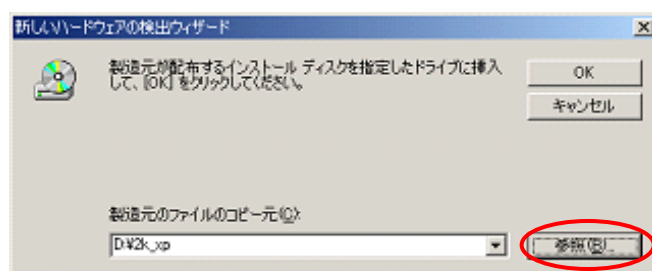
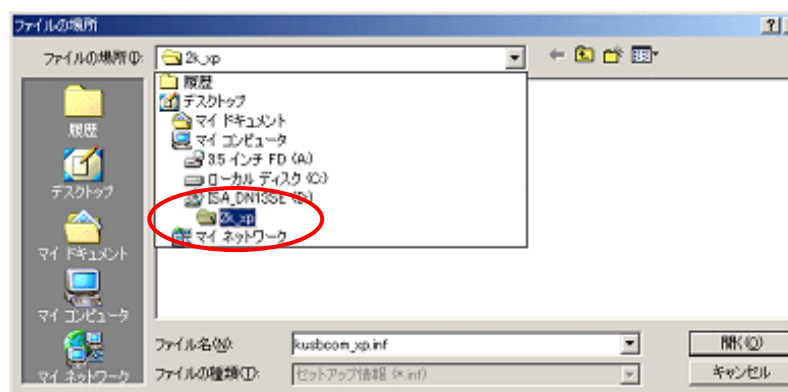
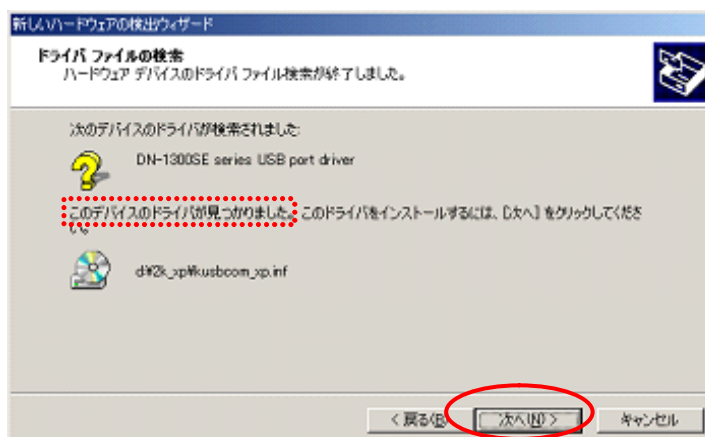
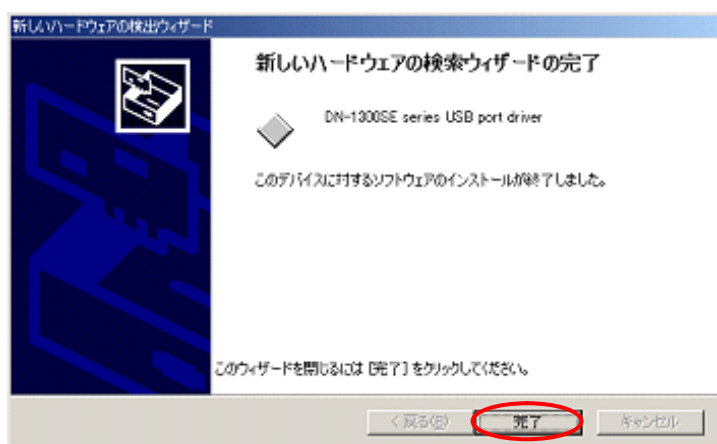
以上で、ドライバのインストールは完了です。

6.3. ドライバのインストール (Windows 2000)

注意

⚠

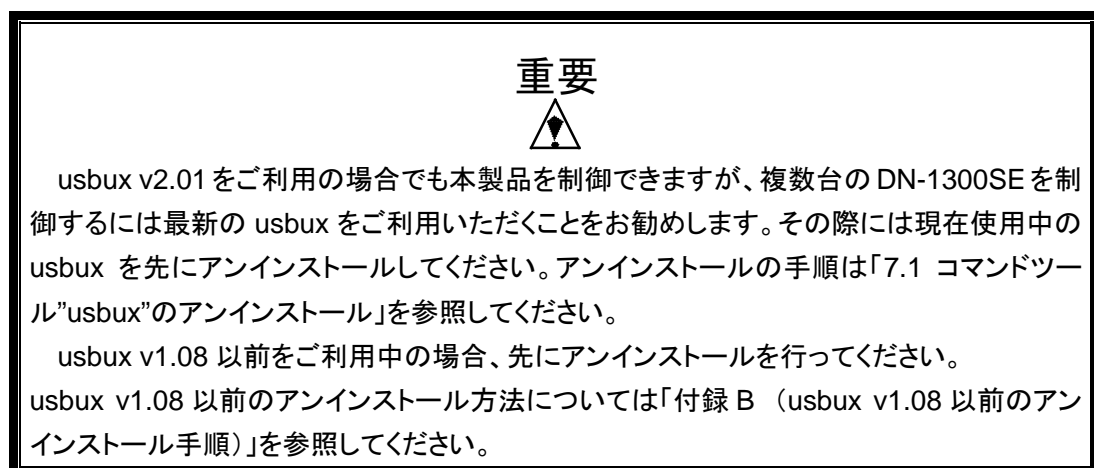
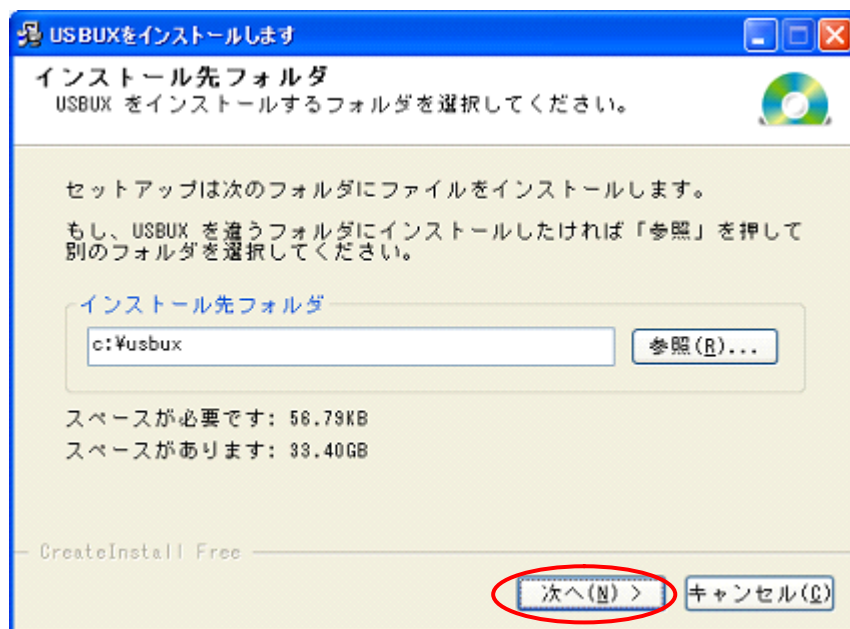
Windows 2000 では 1 台の PC に 2 台以上 DN-1300SE を接続することはできません。
2 台以上接続した場合、2 台目以降が正しく認識されません。
(この場合でも 1 台目は正常に使用できます。)

DN−1300SE を PC に接続していない状態で、付属の「DN−1300SE ドライバ・マニュアル CD−ROM」を PC にセットしてください。
DN−1300SE を PC の USB ポートに接続すると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。

左のようなダイアログが最初に表示される場合があります。
「いいえ、今回は接続しません(T)」を選択し、[次へ]をクリックします。

[次へ]をクリックします。

「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ]をクリックします。

「場所を指定(S)」だけにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

DN-1300SE用デバイスドライバの圧縮ファイルを展開したフォルダ内の"w2k_xp"を選択します。
（左のフォルダ図は例です。実際に圧縮したファイルを展開した場所から選択してください。）

「このデバイスのドライバが見つかりました。」というメッセージが表示されたことを確認し、[次へ]をクリックします。

[完了]をクリックし、「新しいハードウェアの検出ウィザード」を閉じます。

以上で、ドライバのインストールは完了です。

COMポート番号はデバイスマネージャで確認できます。「DN-1300SE series USB driver (COMx)」のCOMxがポート番号です。デバイスマネージャの具体的な操作についてはP27「7.3 ドライバのアンインストール (Windows XP / Server 2003 / 2000)」を参考に行ってください。

6.4. コマンドツール"usbux"のインストール

> **重要**
>
> ⚠
>
> usbux v2.01 をご利用の場合でも本製品を制御できますが、複数台の DN-1300SE を制御するには最新の usbux をご利用いただくことをお勧めします。その際には現在使用中の usbux を先にアンインストールしてください。アンインストールの手順は「7.1 コマンドツール"usbux"のアンインストール」を参照してください。
>
> usbux v1.08 以前をご利用中の場合、先にアンインストールを行ってください。
> usbux v1.08 以前のアンインストール方法については「付録 B （usbux v1.08 以前のアンインストール手順）」を参照してください。

添付の CD-ROM 内の「¥usbux」フォルダにある setup.exe を実行してください。

「次へ」をクリックしてください。

（インストール先のフォルダを変更するには、「参照」ボタンをクリックし、インストール先フォルダを選択してください）

「完了」ボタンをクリックすると、インストール完了です。

指定されたフォルダ（デフォルトは"C:¥usbux"）に以下のファイルがコピーされます。

インストールファイル	usbux.exe	メインプログラム
	devcon.exe	補助プログラム
	readme.txt	補足説明
	uninstall.exe	アンインストーラ
	uninstall.ini	アンインストーラ用情報ファイル

コマンドプロンプトから usbux.exe を実行することにより、本製品のランプとブザーを ON/OFF する事ができるようになります。（詳細は P29「8 usbux コマンドリファレンス」コマンドリファレンスを参照してください。）

6.5. 動作確認

コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行することにより動作を確認できます。

<table>
<tr><td>C:¥> c:¥usbux¥usbux.exe HWSC
COM3
C:¥> c:¥usbux usbux.exe -c 3 ACOP 1110

0
C:¥></td><td>←割り当てられた COM ポートを調べる
←COM3 に割り当てられたことが判明
←COM3 に割り当てられたDN-1300SEに赤、黄、緑のランプを点灯させるコマンドを発行※
←正常終了</td></tr>
</table>

5 灯モデル(5L)、3 灯モデル(3L)の場合、赤、黄、緑のランプが点灯します。
赤灯モデル(1R)の場合、赤ランプが点灯します。
緑灯モデル(1G)の場合、緑ランプが点灯します。

ランプを消灯させるには、ALARM STOP ボタンを押してください。

※5 灯モデル(5L)の場合、以下のコマンドを実行してください。
c:¥usbux usbux.exe -c 3 ACOP 11100000

注意

Windows Vista / 7 / 8 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Server 2012 で UAC(User Account Control)が有効になっている場合、コマンドプロンプトは「管理者として実行」から起動してください。usbux のサブコマンド"HWSC"によるポート検索が正しく行えません。

7. アンインストール

DN-1300SE の使用を取りやめる場合、コマンドツール"usbux"とドライバをアンインストールします。

まずコマンドツール"usbux"をアンインストールし、次にドライバをアンインストールします。

コマンドツール"usbux"のアンインストール方法は全 OS 共通で、「7.1 コマンドツール"usbux"のアンインストール」を参照してください。ドライバのアンインストールは、Windows Vista / 7 / 8 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Server 2012 の場合は「7.2 ドライバのアンインストール (Windows Vista / 7 / 8 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Server 2012)」を、Windows XP、Server 2003、Server 2003 R2、2000 の場合は「7.3 ドライバのアンインストール (Windows XP / Server 2003 / 2000)」を参照してください。

なお、v1.08 以前の usbux のアンインストールの方法は「付録 B （usbux v1.08 以前のアンインストール手順）」を参照してください。

7.1. コマンドツール"usbux"のアンインストール

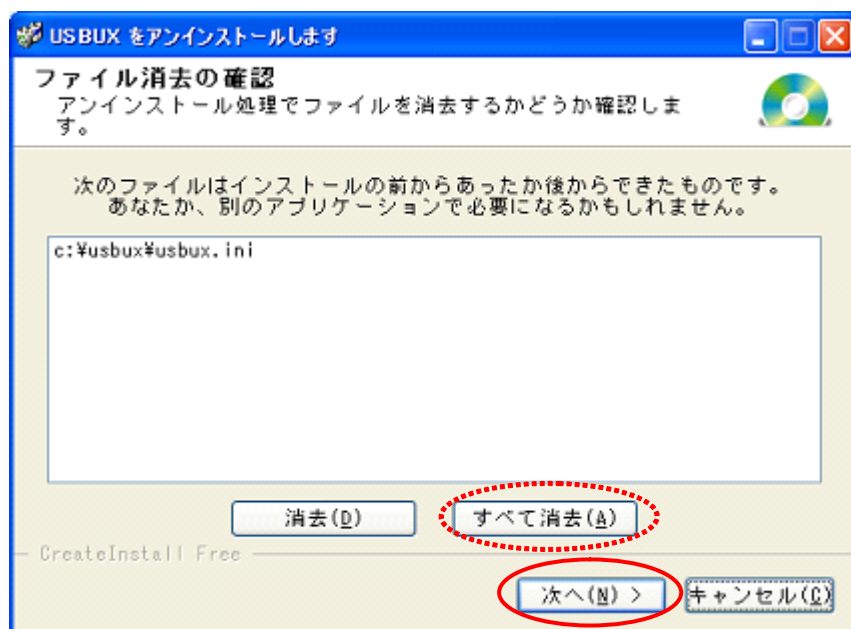
① [スタート]メニューから、[すべてのプログラム]-[USBUX]とたどり、[アンインストール]をクリックしてください。アンインストーラが起動します。

Windows 8 / Server 2012 の場合、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」から「USBUX.EXE」を選択し、「アンインストールと変更」をクリックしてください。

② 「次へ」をクリックしてください。

③ 以下のような画面が表示された場合

usbux.exe の設定ファイルを削除するかどうか尋ねられる場合があります。通常、削除する必要ありません。「次へ」ボタンをクリックしてください。

削除したい場合には「すべて消去」ボタンをクリックしてください。

④ 「完了」をクリックすると、アンインストール完了です。

7.2. ドライバのアンインストール (Windows Vista / 7 / 8 / Server 2008 / Server 2008 R2 / Server 2012)

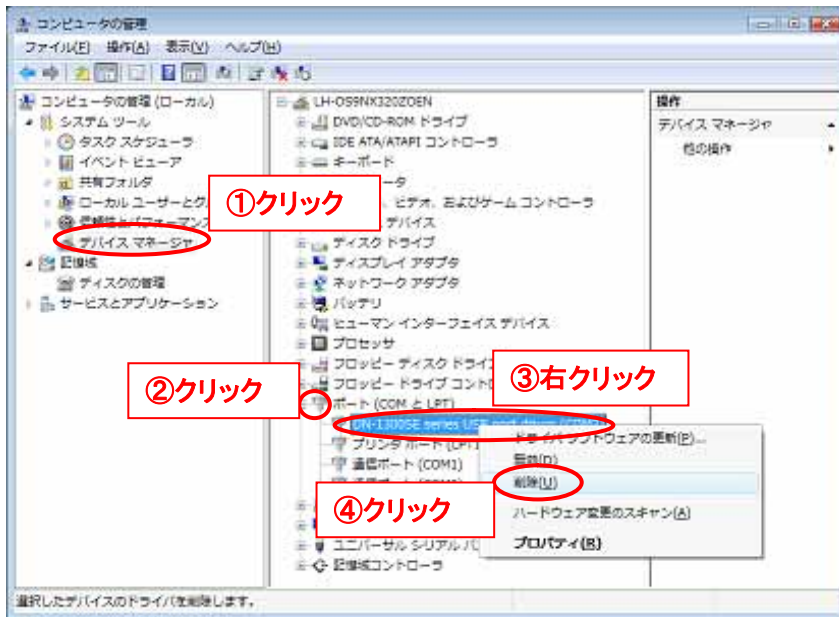
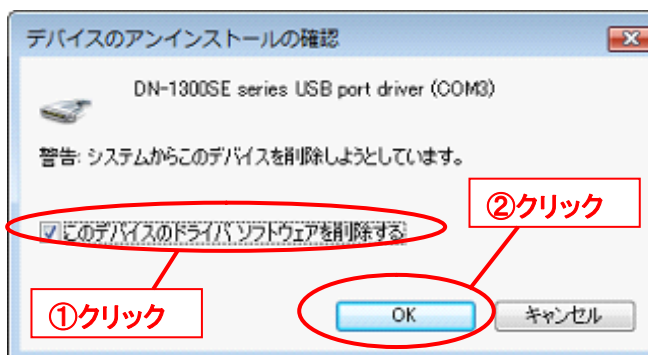
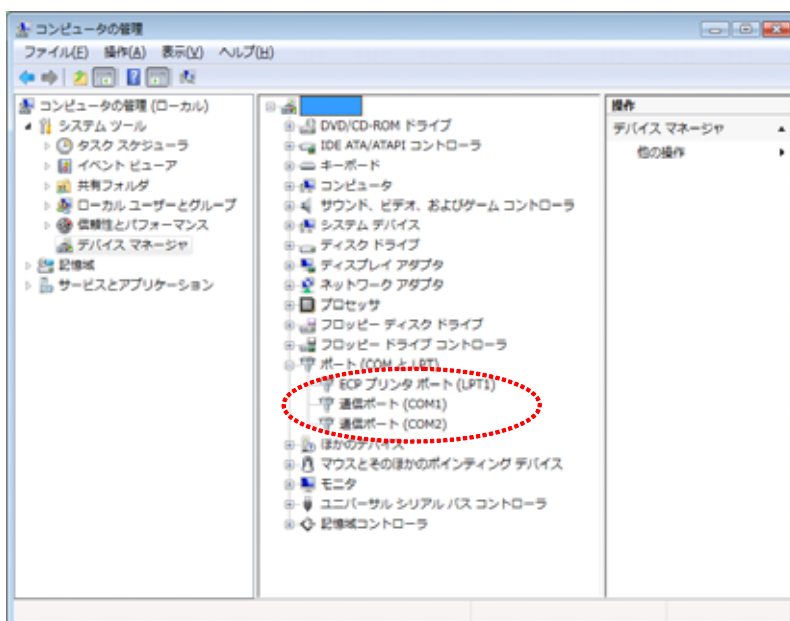
DN-1300SE が 1 台だけ PC に接続されている状態で行ってください。

① スタートボタンをクリックします。

② [コンピュータ]で右クリックするとメニューが表示されます。

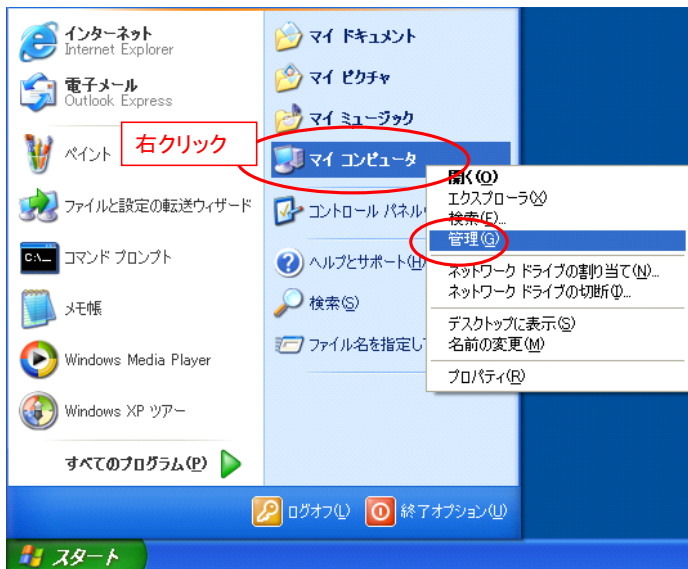
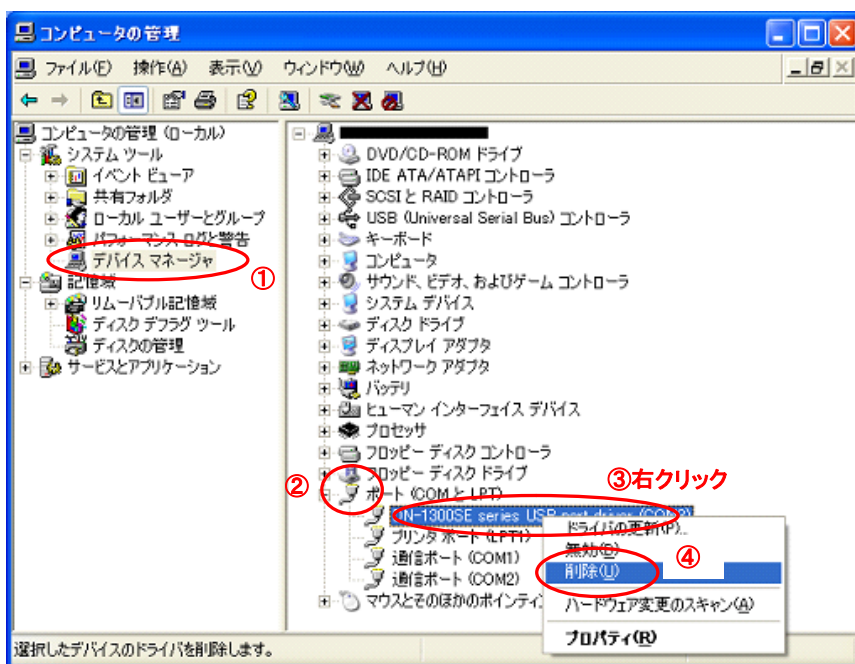
③ メニューの[管理]をクリックしますと「コンピュータの管理」というウィンドウが開きます。

※「ユーザインタフェース制御」ウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックします。

※ Windows 8 / Server 2012 の場合、コントロールパネルの「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

① 左側のツリーから「デバイス マネージャ」を選択します。
② 「ポート（COM と LPT）」の左側の ⊞ をクリックします。
③ 「DN-1300SE series USB port driver（COMx）」という項目を右クリックします。
（"COMx"の x には数字が入ります）
④ 表示されたメニューの「削除」をクリックします。

① 「このデバイスのドライバソフトウェアを削除する」のチェックを ON します。
② [OK]をクリックします。

「DN-1300SE series USB port driver（COMx）」がリストから削除されたことを確認し、本製品を PC から切り離してください。

以上で、ドライバのアンインストールは完了です。

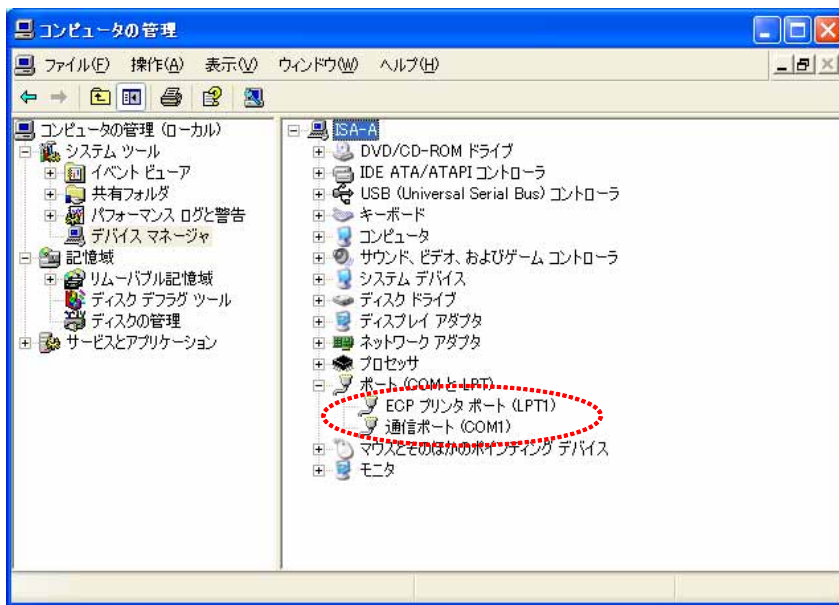
7.3. ドライバのアンインストール (Windows XP / Server 2003 / 2000)

DN-1300SE が 1 台だけ PC に接続されている状態で行ってください。

[スタート]メニューより[マイ コンピュータ]で右クリックすると表示されるメニューの[管理]をクリックします。「コンピュータの管理」というウィンドウが開きます。

① 左側のツリーから「デバイスマネージャ」を選択します。

② 「ポート (COM と LPT)」の左側の ⊞ をクリックします。

③ 「DN-1300SE series USB driver (COMx)」という項目を右クリックします。(“COMx”の x には数字が入ります)

④ 表示されたメニューの「削除」をクリックします。

[OK]をクリックします。

「DN-1300SE series USB driver (COMx)」がリストから削除されたことを確認し、DN-1300SE を PC から切り離してください。

以上で、ドライバのアンインストールは完了です。

8. usbux コマンドリファレンス

8.1. 書式

usbux.exe [<option>] command [<parameter>]

usbux.exe のみを実行するとコマンドツールのバージョン情報と、簡易的なコマンドリファレンスを表示します。

実行例

```
 [usbux.exe v2.31]

Usage:
        usbux.exe [<option>] <command> [<parameter>]

        command   : DN-1300SE series command.
        parameter : command parameters (if necessary).
        option    :
                    -c <port>: COM port number (superior to usbux.ini)
                               If omitted, usbux.exe will refer to usbux.ini
                               which is created by executing SCOM command.
                    -v       : verbose mode

Appendix:
        You can specify the default COM port by executing SCOM command.
        usbux.ini will be created in the same folder as usbux.exe.

        (example)
        Specify COM3 port as default DN-1300SE.

                C:¥usbux>usbux.exe SCOM 3
```

●オプション

-c <port>

オプションを指定しない場合は、usbux.ini から COM ポート番号を読み込みます。このオプションを指定すると、usbux.ini ファイルを無視し、<port>に指定された COM ポートに対して通信を行います。
<port>には 1～256、または、COM1～COM256 を指定します。
<port>を省略した場合、エラーになります。
コマンド HWSC と SCOM では無視されます。

-v

コマンドの実行結果以外に、処理中のメッセージを出力します。

8.2. コマンドリファレンス

コマンドとその概要を示します。

コマンド	意味	READ/WRITE
① ACOP	ランプ／ブザー出力制御	READ/WRITE
② ALOF	ランプ／ブザー停止	WRITE
③ HWSC	接続機器検索	READ
④ RDLP	ランプ灯数取得	READ
⑤ RDMN	モデル番号取得	READ
⑥ RDPD	製造年月取得	READ
⑦ RDSN	シリアル番号取得	READ
⑧ SCOM	通信ポートの選択	READ/WRITE
⑨ UPDT	ファームウェアアップデート	WRITE
⑩ UTID	ユニット ID 取得	READ
⑪ VERN	ファームウェアバージョン	READ

※ コマンドは大文字小文字を区別しません。本書では大文字で統一して記述します。

① ランプ／ブザー出力制御: ACOP (-c 対応)

DN-1300SE のランプ／ブザー制御、及び、状態を読み出します。

(1) 3L/1R/1G の場合

ACOP [(d1)(d2)(d3)(d4)]

表 1 d1～d4 の意味

モデル	d1	d2	d3	d4
DN-1300SE -3Lxx	赤	黄	緑	ブザー
DN-1300SE -1Rxx	赤	無視	無視	ブザー
DN-1300SE -1Gxx	無視	無視	緑	ブザー

d1～d4 の値:

0=ランプ消灯／ブザー停止
1=ランプ点灯／ブザー連続音(PPPP…)
2=ランプ点滅(1 秒点灯・1 秒消灯)／ブザー断続音(P-, P-, P-, …)
3=ランプ高速点滅(0.5 秒点灯・0.5 秒消灯)
X または x=状態保持

- パラメータ(d1～d4)を省略した場合、現在の状態を読み出します。
- 3L/1R/1G の場合、ブザー連続音を鳴動させるには d4 に'1'を、ブザー断続音を鳴動させるには d4 に'2'を指定してください。
- 「無視」には 0 または X を指定してください。
- d1～d4 の桁数が不足している場合、不足桁には'X'が指定されたものとみなされます。余分な桁は無視

されます。

例 1 コマンド送信前の状態がブザー連続音のみ鳴動(0001)している時、赤を点灯させ、緑を点滅させます。他は状態保持します。

```
> usbux.exe ACOP 1X2X
0
```

例 2 現在の状態を確認します。

```
> usbux.exe ACOP
1021
```

(この場合は赤点灯・緑点滅・ブザー連続音鳴動)

例 3 赤を消灯、黄を点灯させます。(桁数不足)

```
> usbux.exe ACOP 01        ←01XX が指定されたとみなされます
0
```

例 4 黄を点灯させ、ブザー断続音を鳴動させます。(桁数超過)

```
> usbux.exe ACOP x1x20000            ←5 桁目以降は無視されます
0
```

例 5 コマンドエラー(無効なコマンド)

```
> usbux.exe ACOP 9999
Command Error
```

例 6 COM4 に接続された DN-1300SE の現在の状態を確認します。

```
> usbux.exe -c 4 ACOP
0000
```

(2) 5L の場合

ACOP [(d1)(d2)(d3)(d4)(d5)(d6)(d7)(d8)]

表 2 d1～d8 の意味

モデル	d1	d2	d3	d4	d5	d6	d7	d8
DN-1300SE -5Lxx	赤	黄	緑	ブザー 連続音 (PPPP…)	ブザー 断続音 (P-, P-, P-, …)	青	白	無視

d1～d8 の値:

0=ランプ消灯／ブザー停止
1=ランプ点灯／ブザー連続音(PPPP…)
2=ランプ点滅(1 秒点灯・1 秒消灯)／ブザー断続音(P-, P-, P-, …)
3=ランプ高速点滅(0.5 秒点灯・0.5 秒消灯)
X=状態保持(X は大文字･小文字を区別しません)

- 5L の場合、ブザー連続音を鳴動させるには d4 に'1'、d5 に'0'を、ブザー断続音を鳴動させるには d4 に'0'、d5 に'1'を指定してください。
- ブザー連続音(d4)とブザー断続音(d5)を同時に'1'を設定した場合、ブザー連続音が優先して鳴動し、ブザー断続音は鳴動しません。
- 「無視」には 0 または X を指定してください。

・ d1～d8 の桁数が不足している場合、不足桁には'X'が指定されたものとみなされます。余分な桁は無視されます。

例 1 コマンド送信前の状態がブザー連続音のみ鳴動（00010000）している時、赤を点灯させ、緑を点滅させます。他は状態保持します。

```
> usbux.exe ACOP 1X2XXXXX
0
```

例 2 現在の状態を確認します。

```
> usbux.exe ACOP
10210000
```

(この場合は赤点灯・緑点滅・ブザー連続音鳴動)

例 3 赤を消灯、黄を点灯させます。（桁数不足）

```
> usbux.exe ACOP 01       ←01XX が指定されたとみなされます
0
```

例 4 青と白を点灯させます。（桁数超過）

```
> usbux.exe ACOP XXXXX11XX            ←9 桁目以降は無視されます
0
```

例 5 コマンドエラー（無効なコマンド）

```
> usbux.exe ACOP 99999999
Command Error
```

例 6 COM4 に接続された DN-1300SE の現在の状態を確認します。

```
> usbux.exe -c 4 ACOP
00000000
```

② ランプ／ブザー停止： ALOF

強制的にランプ／ブザーを停止させます。

```
ALOF
```

例 アラームを停止させます。

```
> usbux.exe ALOF
0
```

③ 接続機器検索： HWSC

USB ポートに接続されている DN-1300SE を検索し、その COM ポート番号一覧を表示します。

```
HWSC
```

例 1 DN-1300SE が 3 台接続されている場合の COM ポート番号一覧

```
> usbux.exe HWSC
COM3
```

```
COM4
COM5
```

例 2　DN-1300SE が 1 台も接続されていない場合

```
> usbux.exe HWSC
No DN-1300SE connected.
```

注意

⚠

Windows Vista / Server 2008 / 7 / Server 2008 R2 / 8 /　Server 2012 で HWSC コマンドを使用するためには、UAC (User Account Control)を無効にしているか、「管理者として実行」しているコマンドプロンプトやアプリケーションソフトから usbux.exe を実行する必要があります。

Windows 2000 では HWSC コマンドを使用できません。

④ ランプ灯数取得： RDLP

DN-1300SE のランプ灯数を読み出します。

```
RDLP
```

戻り値： 5: DN-1300SE-5L
3: DN-1300SE-3L
R: DN-1300SE-1R
G: DN-1300SE-1G

例　DN-1300SE-5L の場合

```
> usbux.exe RDLP
5
```

⑤ モデル番号取得： RDMN

DN-1300SE のモデル番号を読み出します。

```
RDMN
```

例　DN-1300SE-5L の場合

```
> usbux.exe RDMN
DN-1300SE-5L
```

⑥ RDPD　製造年月取得

DN-1300SE の製造年月を読み出します。戻り値は YYMM 形式で、YY が西暦の下二桁、MM が月です。

RDPD

例　製造年月を読み出します。

```
> usbux.exe RDPD
1012
```
(2010年12月製造)

⑦ RDSN シリアル番号取得
DN-1300SEのシリアル番号を読み出します。

RDSN

例　シリアル番号を読み出します。

```
> usbux.exe RDSN
1010120123
```

⑧ 通信ポートの選択: SCOM
-c オプションを指定しないでコマンド実行する場合の COM ポートの選択、または現在選択されている COM ポート番号を表示します。

SCOM [1～256]または[COM1～COM256]

例1 COM1 に設定します。(番号のみ)

```
> usbux.exe SCOM 1
```
(結果表示なし)

例2 COM3 に設定します。(COM+番号)

```
> usbux.exe SCOM COM3
```
(結果表示なし)

例3 現在の状態を確認します。

```
> usbux.exe SCOM
4
```

例4 usbux.ini が見つからない場合

```
> usbux.exe SCOM
SCOM : usbux.ini not found
```

⑨ ファームウェアアップデート: UPDT
本製品のファームウェアアップデートを行います。

UPDT [-w] <アップデートファイルのフルパス>

-w をつけない場合、テスト書き込みのみ行います。
-w をつけた場合、テスト書き込み後、本書き込みを行います。

例 アップデートファイル C:¥DN13SE_Vx_xxx.mot を指定して、ファームウェアアップデートを行います。

```
> usbux.exe -w UPDT C:¥DN13SE_Vx_xxx.mot
UPDT Test : 1000 / 1000 ... test succeeded
UPDT Flash : 1000 / 1000 ... Update succeeded
```

警告

UPDTコマンド実行中は絶対にDN-1300SEのUSBケーブルを抜かないでください。故障の原因となります。
また、ファームウェアアップデート中は大きく電力を消費します。DN-1300SE を直接 PC に接続したり、他のバスパワー駆動の USB 機器を外す等の対策が必要になります。

⑩ ユニットID取得: UTID

本製品のユニット ID を読み出します。

UTID

例 本製品のユニット ID を読み出します。

```
> usbux.exe UTID
1300
```

⑪ ファームウェアバージョン: VERN

本製品のファームウェアバージョンを読み出します。

VERN

例 ファームウェアのバージョンを読み出します。

```
> usbux.exe VERN
V2.002
```

8.3.　エラーメッセージ

ログ内のエラー内容	原因と対処
Cannot open COMxxx	COMxxx から通信できません。（xxx はポート番号） ⇒SCOM コマンドで設定した COM ポート番号、または、-c オプションで指定した COM ポート番号に誤りがあります。HWSC コマンドで COM ポート番号を確認してください。
Cannot receive reply string	警子ちゃん USB から応答がありません。 ⇒SCOM コマンドで設定した COM ポート番号、または、-c オプションで指定した COM ポート番号に誤りがあります。HWSC コマンドで COM ポート番号を確認してください。
Command Error	コマンドエラーが発生しました。 ⇒DN-1300SE ではサポートしていないコマンドが指定されたり、オプションの記述に誤りがないか確認してください。 ⇒O(オー)と 0(ゼロ)、I(大文字の i)と l(小文字の L)等、コマンドやオプションの文字を確認してください。 ⇒ACOP コマンドのパラメータに 0、1、2、X(x)以外の文字が指定された場合、エラーになります。
Illegal port number	-c オプションの COM ポート番号に 1～256 の範囲外の数値が指定されたか、番号が指定されていません。 ⇒1～256 の値を指定してください。
Need COM port number after ‘-c’ option	-c オプションの後に COM ポート番号が指定されていません。 ⇒-c オプションの後に COM ポート番号を指定してください。
Not found devcon.exe	devcon.exe が見つかりません。 ⇒usbux を再インストールしてください。
SCOM: Illegal port number	SCOM コマンドのパラメータ（COM ポート番号）に 1～256 の範囲外の数値が指定されたか、番号が指定されていません。 ⇒1～256 の値を指定してください。
Too long command or command-options.	コマンド文字列が長すぎます。 ⇒UPDT コマンドのパラメータとして指定したファイルのパスが長すぎる可能性があります。ファームウェアファイルを名前の短いフォルダに移動するなどしてください。
UPDT : file not found	UPDT コマンドのパラメータとして指定したファイルが見つかりません。 ⇒ファイル名やフォルダ名を確認してください。
UPDT : invalid File	UPDT コマンドのパラメータとして指定したファイルが不正です。 ⇒DN-1300SE のファームウェアファイルを指定してください。 ⇒ファームウェアファイルが壊れている可能性があります。「DN-1300SE ダウンロードサイト」より、ファームウェアファイルをダウンロードしなおしてください。 http://www.isa-j.co.jp/dn1300se/
usbux.ini : Illegal format	usbux.ini ファイルが不正です。 ⇒SCOM コマンドで COM ポートを設定し直してください。usbux.ini ファイルが修正されます。

ログ内のエラー内容	原因と対処
usbux.ini : Not found	usbux.ini ファイルが見つかりません。 ⇒SCOM コマンドで COM ポートを設定し直してください。usbux.ini ファイルが作成されます。

9. 仕様

9.1. ハードウェア

本体仕様				
型式	DN-1300SE-5Lxy ※下記参照	DN-1300SE-3Lxy ※下記参照	DN-1300SE-1Rxy ※下記参照	DN-1300SE-1Gxy ※下記参照
外観	(イメージは DN-1300SE-5LCB)	(イメージは DN-1300SE-3LCB)	(イメージは DN-1300SE-1RCB)	(イメージは DN-1300SE-1GCB)
ランプ	赤、黄、青、緑、白	赤、黄、緑	赤	緑
ブザー	連続音・断続音 70～90dB			
CPU	16 ビットワンチップ CPU			
ALARM STOP ボタン	有 (動作時は緑色に点灯)			
使用環境条件	温度：0～45℃、湿度：20%～85%RH (結露なきこと)、標高 3,000m 以下			
電源	USB ポートから供給 (USB バスパワー) ランプ／ブザー動作補助電源用 AC アダプタ (標準添付品)			
外形寸法	W: 160mm H: 330mm D: 125mm	W: 160mm H: 270mm D: 125mm	W: 160mm H: 210mm D: 125mm	
質量	0.8kg (0.9kg AC アダプタ含む場合)	0.7kg (0.8kg AC アダプタ含む場合)	0.6kg (0.7kg AC アダプタ含む場合)	

※型式:DN-1300SE-5Lxy

-3Lxy

-1Rxy

-1Gxy

5L:5 灯タイプ
3L:3 灯タイプ
1R:赤色 1 灯タイプ
1G:緑色 1 灯タイプ

x = レンズ
C:色付きレンズ
S:透明レンズ

y = ボディ
B:ダークグレー
W:ライトグレー

9.2. コマンドツール、ドライバ

OS 名	32bit	64bit
Windows 2000※1	○	
Windows XP	○	×
Windows Server 2003	○	×
Windows Server 2003 R2	○	×
Windows Vista	○	○
Windows Server 2008	○	○
Windows 7	○	○
Windows Server 2008 R2		○
Windows 8	○	○
Windows Server 2012		○

○ : 対応

× : 非対応

※1 最新の状態 (ServicePack 4 以降)。1 台の PC に 2 台以上の DN-1300SE を接続できません。

10.　アフターサービスについて

ユーザ登録について

この製品にはお客様登録 FAXカードが付いています。お客様登録FAXカードには必要事項をご記入いただき、ただちに返信してください（又は弊社ホームページよりユーザ登録を行ってください http://www.isa-j.co.jp/support/user/）。お客様登録されていないお客様については保証期間内であってもサービスが受けられない場合があります。

> **注意**
>
> 製品保証期間は、製品出荷後 1 年間となります。
>
> 別途保守サービス（有償）メニューも用意しています。長期間のご利用には、加入をお勧めします。

修理を依頼されるときは

異常がある場合は、使用をやめてお買い上げの販売店へ修理をお申しつけください。

> **危険**
>
>
>
> お客様自身での修理は危険ですので絶対に行わないでください。

■保証期間中

お買い上げの販売店に修理をお申しつけください。11 章 保証規定に従って無償で修理致します。

【ご連絡いただきたい内容】

品　　名：
モデル名：
お買い上げ日：
お買い上げの販売店名：
故障の状態（できるだけ具体的に）：

■保証期間後

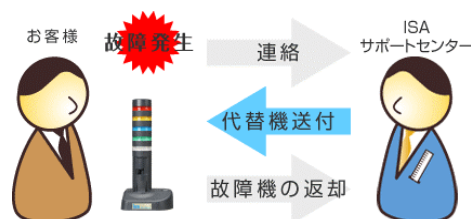
お買い上げの販売店にご相談ください。不具合箇所を確認し、お見積もり確認の後、有償にて修理いたします。

※　本装置の設計寿命は約 5 年です。

※　別途保守サービス（有償）を用意しております。ぜひご検討ください。

保守サービス(有償)について

● 安心してご利用いただくために ●

本製品(警子ちゃん 3G シリーズ)では、ご購入後、お客様に安心して長期にご利用いただくための保守サービスをご用意しております。特に 5 年パック保守は、単年契約を繰り返す手間が省けるうえに費用も大変お得となっております。

■代替機の先出し修理方式

保守サービスに加入頂きますと、サービス期間中の故障時には代替機との交換をさせていただきます。お客様からご連絡をいただき、故障と判断した場合、先に代替機を発送しますので時間ロスも短縮できます。修理作業費や部品代なども発生しないため、スポット修理に比べてお得なサービスになっています。

保守サービスメニューご案内 URL

http://www.isa-j.co.jp/keiko-10th/products/3g/support.html

■安心の「先出しセンドバック」保守サービス

万が一、本製品(警子ちゃん 3G シリーズ)が故障した場合、「保守サービス証(正式版)」をお手元に置き、弊社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。弊社サービス担当が故障と判断した場合、代替機をお客様宛に送付いたします。(就業時間内受付で当日発送となります。)

代替機到着後、お客様にて交換いただき、故障機をご返送いただきます。代替機は修理完了後本体が戻るまでご利用いただけます。

※ 単年度保守は、購入後 1 年目または 2 年目にてご契約となります。

※ 5 年パック保守は製品本体と同時購入が前提となります。

※ 保守サービスご希望の場合は、製品をご購入いただいた販売店へお問い合わせください。

※ 本サービスを日本国内の離島や山岳地等交通手段が限定される地域、あるいは海外でのご利用をお考えの際は、事前にお問い合わせください。

本製品(警子ちゃん 3G シリーズ)保守サービス契約料金/概要 (2012 年 9 月現在)			
内 容	標準小売価格(税別)/台		説 明
	初年度	次年度以降	
5 年パック保守	(5 年間まとめて) 30,000 円	ー	5 年パック保守: 5 年間を 1 パックにし、保守料金も単年度保守よりも割安です。
単年度保守	11,400 円	11,400 円	単年度保守: 1 年毎の保守サービスです。 次年度以降も同額保守料金でサポートいたします。

11. 保証規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、引取にて無償修理させていただきます。この場合お客様が、ご使用システムから故障機器を「切り離し」下記窓口へお送りください。

2. 修理品の輸送料金及び諸掛かりはお客様の負担となります。輸送される場合は輸送中の破損がないように適切な梱包を行ってください。

3. 保証期間内でも次のような場合は有料修理になります。

（イ） 取扱上の不注意による故障及び損傷
（ロ） 不当な修理や改造による故障及び損傷
（ハ） 火災、地震、水害、雷、その他の天災地変及び異常電圧による故障及び損傷
（ニ） お買い上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当な為に生じた故障及び損傷
（ホ） 分解、もしくは分解したと思われる形跡(傷跡・半田跡等)が確認された場合
（ヘ） ユーザ登録されていないお客様の場合
（ト） 本製品に接続している当社指定機器以外の機器の故障によって生じた故障
（チ） 消耗部品及び付属品の交換

その他

・ 本装置使用中において、本装置及び接続されるシステムに万一不具合や故障が発生しても原因の如何を問わずその結果については責任を負いかねます。
・ アフターサービスについて分からない事は、お買い上げの販売店又は下記までご連絡ください。

株式会社アイエスエイ　国内営業部

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-16

お電話によるお問い合わせは	03-3208-1563
FAX によるお問い合わせは	03-3208-1335
E-mail によるお問い合わせは	info@isa-j.co.jp

付録 A （アプリケーションからの制御方法）

ここでは、コマンドツールを使用せずに、お客様が作成するアプリケーションから USB 通信で本製品を制御する方法を示します。

(1) 本製品との通信

本製品はコマンドやパラメータなどの文字列を受信します。文字列を受信した場合は必ず本製品から送信側に文字列（戻り値）を返信します。返信文字列[1]は以下の通りです。

	本製品が受信した文字列	本製品が返信する文字列
1	本製品が対応しているコマンド	0
2	本製品が未対応のコマンド	1
3	本製品の現状態読み出しコマンド	そのコマンドに対応した返信文字列[2]

(2) RS232C 通信設定

本製品との通信は割り当てられた COM ポート経由で行いますが、実際に RS-232C 通信するものではありません。よって、ボーレートやデータビット長などの設定はシステム既定値のままで結構です。

(3) 送信文字列の詳細

本製品に送信する文字列は ASCII コードにしてください。

また、コマンド、パラメータ、オプションの間に 1byte 以上の sp（space）を、送信文字列の最後に cr（Carriage Return）を付加してください。本製品は、コマンド、パラメータ、オプションの区別を sp で、送信文字列の終了を cr で判定します。

(4) コマンド送信例

本製品の赤ランプを点滅、黄ランプを点滅、緑ランプを点灯、ブザーを断続鳴動させる時は、文字列 “ACOP 2212” を送信します。

文字数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
送信内容	A	C	O	P	sp	2	2	1	2	cr
送信文字列※	0x41	0x43	0x4f	0x50	0x20	0x32	0x32	0x31	0x32	0x0d
意味	コマンド名（ACOP）				空白	パラメータ（2212）				改行

※送信文字列は ASCII コード（16 進数）です。

(5) 本製品からの受信例

ファームウェアのバージョンを読み出すコマンド “VERN” を送信した時の受信例を示します。

① コマンド “VERN” を送信します。

文字数	1	2	3	4	5
送信内容	V	E	R	N	cr
送信文字列	0x56	0x45	0x52	0x4e	0x0d
意味	コマンド名（VERN）				改行

[1] 文字列の末尾はcr（改行文字）。

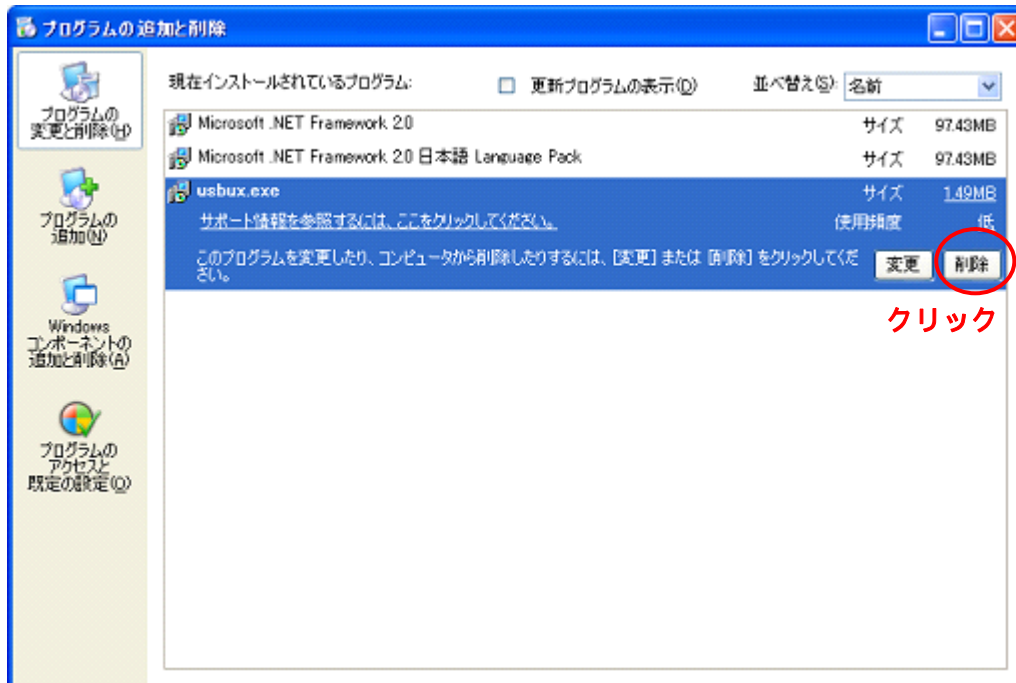
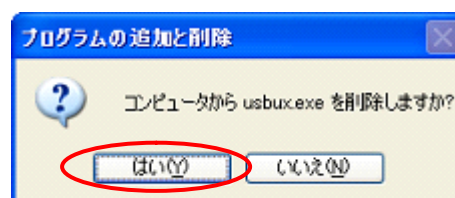
[2] 詳細は 8 章参照。

② ①を送信後に本製品から受信した内容（バージョン 2.011 を示す “V2.011”）です。

文字数	1	2	3	4	5	6	7
受信内容	V	2	.	0	1	1	cr
受信文字列	0x56	0x31	0x2e	0x30	0x31	0x31	0x0d
意味	コマンド応答（V2.011）						改行

付録 B （usbux v1.08 以前のアンインストール手順）

v1.08 以前の usbux のアンインストール手順を示します。

① コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」(Windows XP 以前)、または、「プログラムと機能」(Windows Vista 以降)を開いてください。
“usbux.exe”を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

② 「はい」をクリックすると、アンインストール処理が実行されます。

③ “usbux.exe”の項目が削除されれば完了です。

お問い合わせ先

株式会社アイエスエイ　国内営業部

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-16

お電話によるお問い合せは	03-3208-1563
FAX によるお問い合せは	03-3208-1335
E-mail によるお問い合せは	info@isa-j.co.jp